



東京都立
東久留米特別支援学校

令和7年9月1日 第6号

学校だより

校長の読書感想文

校長 菊地 直樹

この夏、私は、知り合いから『自立への道』という古い本が実家から出てきたと紹介され、借りて読みました。この本は、昭和43年に東京都から刊行された知的障害のある子どもの家庭支援について書かれたものです。代表執筆・監修は東京大学教授（当時）三木安正氏です。

当時、都立知的障害特別支援学校（養護学校）は、青島養護学校、王子養護学校、八王子養護学校、立川養護学校の4校しかなく、かつ、就学猶予の制度が広く活用され、多くの障害児は小中学校に通えず、在宅を余儀なくされていた時代です。

刊行から57年経ちましたが、とても大事なこと、良いことが書かれていました。それは、『支援者は子ども側に沿って考えていかなければならない。』ということです。一部ですが紹介します。

- 遊びは大事。子どもは好きな感覚を見つけようとする。支援者が段階的に興味を起こさせる刺激を与えると子どもは期待する。世界が広がる。人と合わせると楽しいことができると学んでいく。
 - 手伝いは、技を教えるより、どうしたら人のためになるか、相手が喜ぶことにつながるかを本人に合わせて考えておくことが大事。
 - 言葉は教えて覚えさせるのではなく、交渉したいことを助けていくことで次第に覚えていく。
 - しつけは、本人が自ら身につけて行くべきこと。一方通行のしつけは本人が避ける。しつけ後の反応で共感できたか、両面通行になったかが確認することが大事。
 - 社会参加は、次（後述）の目標をもった生活ができるとおのずから近づく。身辺生活の自立・集団生活の自立・職能の習得
 - 職業生活には、作業能力と仕事に対する態度・構えを作り上げることが大切。作業は規格を守って割当量を納期限内に果たす。態度・構えは、社会に必要としている立派な仕事をしているという気持ちを育てる。
- 注）本を参照しましたが、削除加筆をしています。

乳幼時期の親子関係から就職・結婚までを、教育中心に、福祉、医療、親の会が連携し、わかりやすくまとめられた本でした。なにより、大先輩方の障害児者に対する深い愛情を感じ感動しました。

私は、次のステージを見据えて、今の発達段階に合わせた指導をすることが大切であり、課題に取り組むときに、生徒本人も取り組みたいと期待し、目標を達成できたときには生徒も教員も共に喜び合うことを大事にしていきたいと思いました。人と人との共感的にかかわることは、簡単なことではありません。試行錯誤や悩みながらも、前向きに努力し続けていきたいと思っています。

この本から、半世紀以上、変わらぬ大事なことを知ることができました。しっかり継承し、生徒の将来と今の幸せな生活の実現のために、教員と生徒が同じ方向を向き共感しあえるように努めてまいります。2学期もどうぞよろしくお願いいたします。

令和7年度 東久留米特別支援学校 9月予定

日	曜	行事
1	月	始業式 安全指導日 通学指導 短縮 11:30 下校
2	火	(全)短縮 14:00 下校 給食始 避難訓練(12:15 水害)
3	水	(普のみ)短縮 14:00 下校
4	木	(全)体重測定 災害用伝言ダイヤル訓練
5	金	精神科相談(13:30) (職1年)学年保護者会(15:30-16:30 食堂)
6	土	
7	日	球技部練習試合(PM ブリヂストン小平 対小平スーパーレディース)
8	月	インターンシップ始 (職)外部清掃(9:30) (普)学科説明会(10:00)
9	火	(普)委員会活動(14:25)
10	水	(職)学科説明会(10:00) (普・職)外部清掃(AM 東京病院) (職)カフェ
11	木	介護等体験
12	金	(職)外部清掃(9:30) 安全衛生委員会(13:30) 介護等体験
13	土	
14	日	
15	月	敬老の日
16	火	(職3年)消費生活特別授業(PM 会議室) 介護等体験
17	水	(職)上級学校訪問 介護等体験
18	木	保護者進路学習会(10:00 会議室)
19	金	(職)外部連携清掃(AM) (職)本人講座(18:00)
20	土	バスケ部(女子)練習試合(AM 体育館 対永福学園)
21	日	
22	月	東久留米フェスタ時程始
23	火	秋分の日
24	水	(職)上級学校訪問(AM)
25	木	東久留米フェスタ(生徒向け発表)
26	金	
27	土	東久留米フェスタ(保護者・一般向け発表)
28	日	
29	月	振替休業日
30	火	特体連ソフト・ティーボール大会 介護等体験

学校HP

